台東デザイナーズビレッジ
視察見学会報告書

◆日　時：平成27年2月19日（木）15：30～19：00
◆会　場：台東デザイナーズビレッジ
　　東京都台東区小島2-9-10
◆懇親会：魚旬　北陸の漁師・仲買の魚屋さんで
◆参加者：１８名

台東デザイナーズビレッジ<http://www.designers-village.com/map/>

開催趣旨

　台東デザイナーズビレッジは平成１６年４月、台東区旧小島小学校跡を改装して作られたファッション関連業種の創業支援施設。全国に３００から４００カ所あると言われる創業支援施設の中で、シューズ、バッグ、アクセサリー等ファッション雑貨分野のデザイナーに対象者を絞った施設としては日本で唯一の施設です。

　台東区は、靴、鞄、アクセサリー等のファッション雑貨関連産業が集積している地域。しかし、受注型のビジネスが主流である地場産業の活力、競争力を高めるためには、デザインに優れた高付加価値商品を開発することが求められていました。

　そこで、若手デザイナーや創業者にビジネスの場を提供し、この地域に誘致することで、将来的にデザイナーが集まる地域を形成していくことが、地域活性化のためには不可欠であるという長期的なビジョンに基づき創設されたとされています。（台東デザイナーズビレッジインキュベーションマネジャー(村長) 鈴木 淳氏の論文から）
　今回は、村長の鈴木様に現状のお話しを頂きながら施設を見学、その後意見交換会、懇親会を開催しました。

鈴木淳村長の講演

鈴木淳村長

15時30分から鈴木村長のご講演をいただきました。

また視察会の最後に、地元で情報発信を続ける今村ひろゆき氏（東東京マガジン主催者）に台東エリアの若者達の情報発信の状況について報告いただきました。

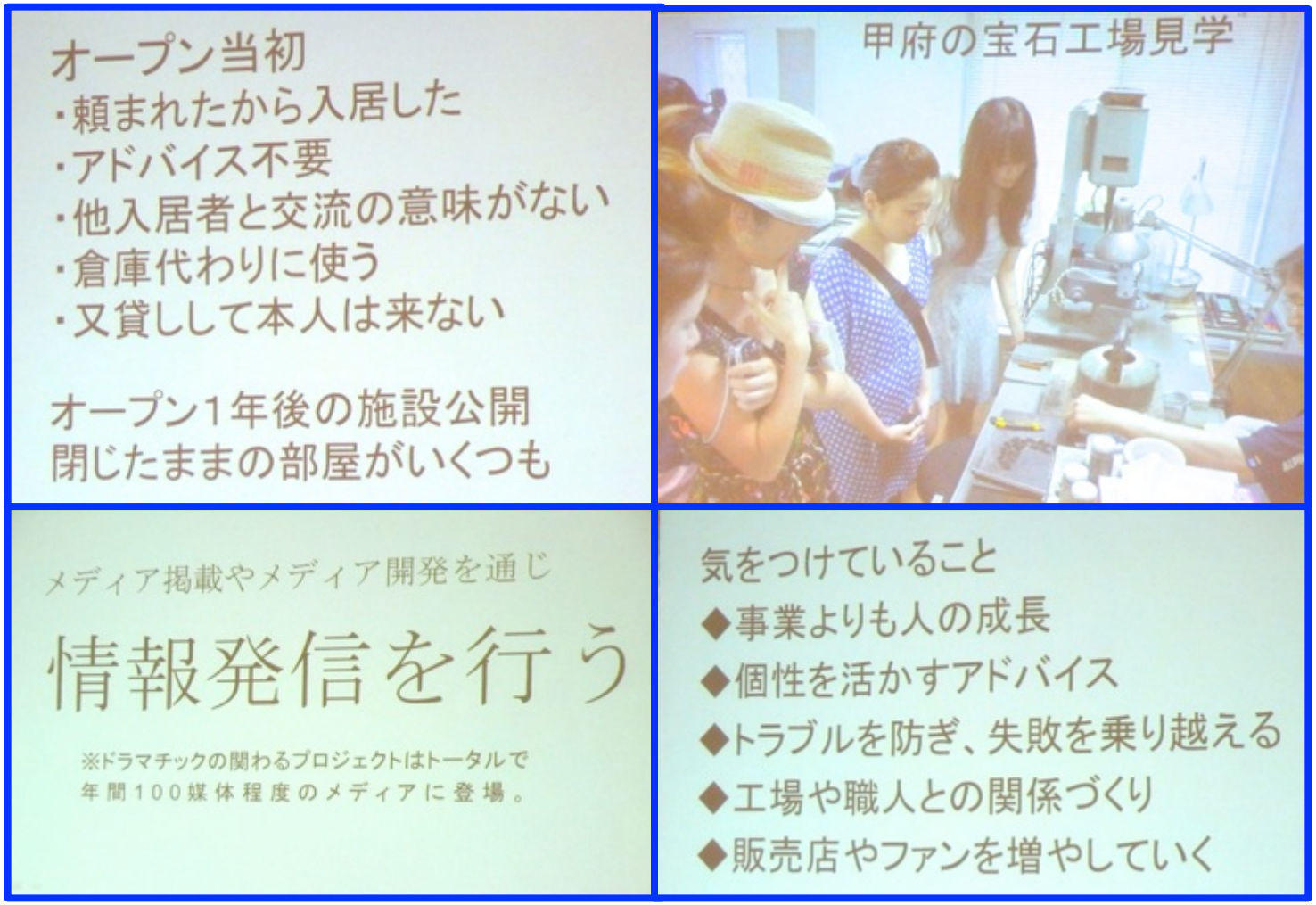
今村ひろゆき氏

施設全景：台東デザイナーズビレッジは旧小島小学校校舎を活用

田辺理事

今回視察会では、田辺理事にファシリテータをお願いしました。

鈴木淳村長の講演趣旨



廃校再利用として大成功を納めている当施設鈴木村長の講演は、設立当初から順風満帆ではなかったこと、その間の区の施設としての様々な規則の範囲の中で奮闘したこと等が報告されました。徐々に施設への入居者のレベルが上がり、宝石の工場見学等を実施して（右上写真）居住者の仲間意識も生まれ成功していきます。左下スライドはゲストの今村ひろゆき氏（東東京マガジン主催者）のスライド。街づくりに期待。

現場視察　全国から集ったクリエイターの素顔

鈴木村長の講演の後、校内の様々な施設を視察しました。実際に入居しているクリエイターの皆様の「教室」をお尋ねし、熱い思いに触れることができました。

共通の思いが表現されるディテール

学校の階段の壁に残された子どもたちの壁画。ファッション雑誌に取り上げられている作品。図書室で閲覧できる効果な専門誌。理科実験室を改修して協働作業場に。

熱を帯びたディスカションが行なわれました

どの地域でも共通の課題。廃校利用。その運営の様々な課題について熱心にディスカションがかわされました。

懇親会　入居者の皆様も参加し意見交換

勉強会の後、近くにある隠れ家「魚旬」で懇親会。北陸の魚の仲卸の魚屋さんの裏に隠れたこの店で、旬な日本海の魚を頂きながら懇親しました。